

# 未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町 913-3 TEL:0743-58-5225  
11月供給高 4791.5万円 (前年比 114.5%)  
11月組合員数 3,104人 (前年比 107.9%)

生活クラブ奈良

検索してみる

## 総勢なんと300名の参加「奈良フェスタ」

原材料やこだわりの製法を知ること、消費材たちをますます好きになりました  
11月18日(日) 奈良文化会館にて



もみじやイチヨウの木々が美しく奈良公園を彩るあたたかいお出掛け日和の秋の日、第5回「奈良フェスタ」を開催しました。参加者大人160名(内未組合員55名)、子供89名、組合員スタッフ38名、職員13名の総勢なんと300名の参加で大盛況のフェスタとなりました。

生産者と話せて  
楽しかった

今回、参加生産者26のうち半数が初めての参加で、お話を聞くのが楽しみだという声も多数聞こえてきました。生産者からも参加できてうれしういと言っていました。初めてのお手伝いの組合員も多く、運営側としては負担が多く大変だったのではと心配していましたが、「色々学べて勉強になった。」生産者の方々とお話できて良かった。」と喜びの声が聞けました。一緒に手伝ってくれた子どもたちも本当に大活躍でした。バイオサポこどもラボコーナーにも親子連れで沢山参加され、小さい子どもたちも熱心に着色料や添加物の実験を体験し、学んでくれました。



こだわりの消費材を  
いろいろと試食

会場となった奈良文化会館は調理が出来ず、試食の内容が限られていたのですが、今まで以上の参加があり嬉しい限りでした。どの生産者も熱心にそれぞれの安心安全、おいしさへのこだわり、生産者ならではの利用方法や生産者秘伝の利用方法、レシピ等を語っていただけで、消費材たちを益々好きになりました。

ちょっとした高価で手が出なかつた消費材もその原材料や製法を知ると「そんなに安くていいの？」と反対に言ってしまうほどでした。今回のカタログ掲載が楽しみです！商品を買う・売るという一般の流通システムでは味わえない生産者・組合員・職員の三輪でつなぐ協同組合の醍醐味が形となった一コマを撮りました。この機会に力を発揮する仲間を増やしたいです。



おいしい!と評判のケチャップ  
コーミ株コーナー

↑ おお節けずりに挑戦  
みえきまね販売コーナー



コツがわかれば、さらに美味しい!  
日東珈琲(株)コーナー

### 生活クラブの消費材10原則【前文】

私たち、生活クラブと生産者は、共に対等な立場で消費材(\*)を開発し、その共同購入を通じて「健康で安心して暮らせる社会」の実現をめざします。消費とは生命が生まれて死ぬまでの過程そのものであり、何をつくり出し、選び、利用するかという私たちの行動によって未来の命と環境のあり方が決まります。だからこそ私たちは、原材料の調達から生産、流通、消費、廃棄に至るすべての過程で安全・健康・環境を最大限に尊重し、ここに「生活クラブの消費材10原則」を定めます。そして、関わるすべての人が主体的に参加する制度の下に、継続的に目に見える形でこの原則を追求します。

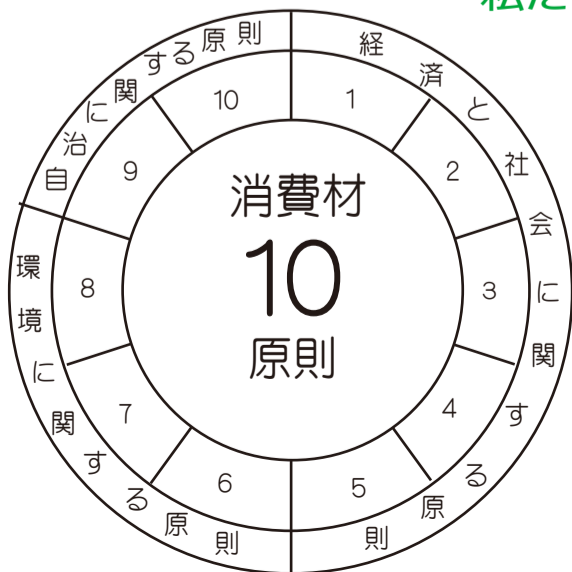
(\*)生活クラブでは、取り扱う食品や生活用品を利潤追求が目的の「商品」ではなく、実際に使う人の立場にたった材であるという思いを込めて「消費材」と呼んでいます。消費材を通じて、生活の中にある課題の解決をめざしています。

世界の中で多発している災害の危機意識を共有したいとの思いから、災害備蓄用の消費材展示コーナーを設けました。パネル展示、防災クイズに答えておいしいプレゼントをゲット。試食あり、防災クッキング、レシピ紹介など盛りだくさんでした。  
防災常識クイズでは家族で親子で、まじめに議論する光景。「備蓄用は美味しくない」では月に一度は備蓄用品で食事して防災について考える日にしましょう」と提案したり、「地域のハザードマップを確認してみよう」など、来場者の皆さんと意義ある一日を過ごすことができました。感謝。  
(中南部エリア 川島龍子)

「災害を我がこととして考えよう」  
「回転備蓄コーナー」  
(理事 武中雅子)

- 第1原則 安全性を追求します
- 第2原則 遺伝子操作された原材料は受け入れません
- 第3原則 国内の自給力を高めます
- 第4原則 公正で責任のある原材料の調達をめざします
- 第5原則 素材本来の味を大切にします
- 第6原則 有害化学物質を削減します
- 第7原則 3Rを推進し、さらなる資源循環をすすめます
- 第8原則 温室効果ガスの排出削減をすすめます
- 第9原則 積極的に情報を開示します
- 第10原則 独自基準を定め、自主的な管理をすすめます

『生活クラブの消費材10原則』についてのご質問などは、担当理事(堀口)までお問い合わせください。



## 『自主基準』と『消費材 Step Up 点検』

私たち組合員が直接「消費材」を確認すること

『生活クラブの消費材10原則』は、より良い消費材を生み出すための基本ルール。  
この原則を実現するために、消費材の「自主基準」を組合員と生産者が一緒に考え、どのくらい達成できているかを「消費材 Step Up 点検」(旧・おおぜいの自主監査)で組合員が共に確認します。  
前文にもあるように、組合員と生産者は共に対等な立場で消費材を開発し、その消費材の共同購入を通じて生活の中にある課題の解決をめざし、又、健康で安心して暮らせる社会の実現を目指しています。  
先に述べた「自主基準」の作成や「消費材 Step Up 点検」という具体的な仕組み(「持続可能な生産と消費」推進制度)を積極的に活用し、消費材をより良くしていくためにお互いが関わりながら向き合っていく、これこそ生活クラブの組合員ならではの醍醐味ではないでしょうか?この素晴らしい仕組みを奈良でもいっそう活用していきたいものです。  
(消費担当理事 堀口雅子)

# 生活クラブってなあに？

11月19日 生駒コミュニティセンターにて  
講師：生活クラブ連合会顧問 河野栄次さん



3月のカンブリア宮殿（ご番組）に出演された際に、「いつか会ってみたいなあ」と思っていた私。こんな早くにお話を聞く機会が巡ってくるのは……。

『生活クラブ連合会 顧問』という肩書きからして、河野さんは近寄りがたい感じの方も……と想像していましたが、非常に気さくな方で、リラックスして拝聴できた。

楽しい時間でした。設立から50年間の歴史、そして、これから先10年間で必要な課題は何かという講演内容でした。生活クラブは『人間が人間らしく生きる社会を目指して』生まれました。『社会問題を解決するために私達の武器は何か。』生活クラブを、生き方を豊かにする道具に！この言葉に何だかワクワクしました。

さてみなさん、少し自分の周りを想像して下さい。食品添加物、農薬、遺伝子組み換え、国内自給力、有害化学物質、3R（資源循環）、環境、福祉、雇用……日々生活して「あれっ」と思っている不安を感じる事が一つでもありませんか？それをみな（組合員）で考え、少しでも『自分たちの生活を豊かにする』為に行動・実行できるのが生活クラブだと、この講演で強く感じました。

私は、一人の母親として、次の世代（子ども達）の為に何が出来るか、何をすべきか、みなさんと共に考えていきたいです。一人でも多くの方と一緒に。それは楽しい作業……大人になって良かったな』と思える瞬間かもしれません。

（理事 大貫道代）

## ネグロスツアー報告会

どんな映画やドラマよりも見ごたえあり！  
10月4日 大阪第2ビルにて

驚いたのは、来場者の方々が、私たちの報告を見ること、聞くことに対してのこちらが圧倒される程の熱心さでした。報告会はレポート率が非常に高いイベントで、過去にツアーに参加された方もいらっしゃる。これまでのネグロス生産者との交流歴もご存知の方が多い。このリピーター参加者は、まさに毎年のツアー参加者でもあるのだ、と実感致しました。

動画もふんだんに交えた報告は高評価をいただき、とても嬉しくこちらにも感動をいただいた会となりました。

どんな映画やドラマよりも見ごたえのある、私達（生活クラブ）のドキュメンタリーです。是非一度参加されることを強くお勧め致します。

（理事 山口幸子）



## 「生活と自治」という消費材のお勧め！

生活クラブ生協連合会が発行する『生活と自治』は今年12月に596号目となる生活者のための月刊誌です。

種々雑多な情報が氾濫する社会の中において、生活者の自立と自治につながる報道を目的とした「情報」の共同購入なのです。

創刊から39年の時代の変遷の中、一貫して暮らしに係る各地各分野の様々な話題を取り上げた多彩な記事や生活者の視点からの解説など、時代を反映したこれらの貴重な情報を私たちが一人だけのものにせず、家族と共有しながら、人が社会の中で生きることすべての分野に視野を拡げていく助けになると思っています。

水俣病をはじめ、次々と公害病が報道されるようになった60年代から70年代は戦後からの高度成長のひずみが噴出した時代。環境汚染に不安を抱きながら子育てをしていた母達は食の安全・安心情報公開の徹底を求めて連帯し、営利を目的としない事業を立ち上げてきた草の根の歴史を顧みる度、困難を乗り越えてきた方々の志を受け継ぎ、次の世代に伝えていかねばと思えます。子どもを取り巻く環境の劣悪化や不幸等の時代の流れに途方に暮れる毎日ではあっても、未来に生きる子どもを守る義務を忘れず、問題解決を目指す道を歩み続けたいと願うばかりです。

『生活と自治』のおすすぬ記事を考えてみたのですが「特集」も「連載」もどれもこれも心のこもる良質の情報としか言えませぬ。

（奈良工リア 西典子）

- 今回、実際のツアー参加者7名が行った報告内容は
- ☆ ATP1（オルタナティブフィリピン=生産者の支援や生産管理、そして私達との橋渡し役）
  - ☆ マムズ・アクロス・フィリピン（近年のフィリピンでのジャンクフードや添加物等から子供達の健康や、環境を守りたい母親達の会）の活動について。
  - ☆ 循環型有機農業を次世代の若者に教え育てるカネシゲファーム・ルーラルキャンパス。
  - ☆ 生産地パタグ村、パンダノン村、マンティケル村で生産者の生活がバランゴンバナナによってどう変わってきているか。自然環境を守りながら、生産数や質の向上を目指しての苦労、努力されてる実情。
  - ☆ 村から集まったバナナを全て手作業で洗浄し出荷するパッキングセンター。

## ママルーシェハッピーフェスタに出展しました！

2018年11月3日（土・祝）10:00～16:00  
近鉄学研奈良 登美ヶ丘住宅地内 夢彩の丘公園  
試食：ポークウインナー、パスタライズド牛乳、トマトケチャップ、りんご（シナノスイート）



### お知らせ

子育て世代の来場が多いと見込んでいましたので「安心な食品選び」をテーマに食品添加物をメインとした企画としました。試食品はどれも好評でした。

イベント開始直後から来場者が多く試食待ちの列ができる時もあり、終始盛り上がりのあったイベントでした。

今後、イベントへの積極出展を考えている生活クラブ奈良として良い結果を残すことができたと感じます。組合員拡大のメイン手法のひとつとして、様々な内容のイベントに対応できるよう今後もブラッシュアップしながら取り組んでいきます。

生活クラブ奈良は認知度向上、組合員獲得のためにイベントへ積極的な出展を行います。

出展できる奈良のイベント情報をぜひお知らせ下さい。

よろしくご依頼致します！

連絡先：0743-58-5225  
担当：城本（シロモト）